

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月09日

計画の名称	守山市における下水道の地震対策とポンプ施設の延命化対策および浸水対策の推進（その2）（防災・安全）											
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	守山市											
計画の目標	耐震化することで、安全・安心、快適な暮らしを継続し、延命化することで適正な維持管理の継続を図る。 集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、浸水対策を実施することにより、水害に強い都市を作るとともに、安心安全な市民生活の確保を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	605	A	605	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	(汚水)長寿命化計画に基づき、ポンプ場（マンホールポンプ場合む）設備の機器更新を行い長寿命化達成率を36%（H28）から98%（H32）に増加。 ポンプ場（マンホールポンプ場合む）の長寿命化達成率 更新工事済みポンプ（17箇所）/全ポンプ数（47箇所）	36%	70%	98%
2	(雨水)下水道による都市浸水対策の達成率を11.4%（H28）から17.4%（H32）に増加。 下水道による都市浸水対策達成率（%） 整備済み面積（ha）/全体計画面積（2,091ha）	11%	14%	17%
3	(汚水)総合地震対策計画に基づき重要な汚水幹線の機能確保率を14%（H28）から24%（H32）に増加。 重要な汚水幹線の機能確保率（%） 重要な汚水幹線の耐震化および減災化済延長（4,656m）/重要な汚水幹線延長（32,996m）	14%	24%	24%
4	(汚水)総合地震対策計画に基づきマンホールトイレの普及率を18%（H28）から68%（H32）に増加。 マンホールトイレ普及率（%） 対策実施済施設数（3施設）/対策を実施すべき計画施設数（16施設）	18%	68%	68%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	○	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
計画の成果目標：マンホールトイレ普及率については、整備計画名「守山市における下水の地震対策とポンプ施設の延命化対策および浸水対策の推進（その2）（防災・安全）」との合算値である。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	守山市	直接	-	ポンプ場	改築	守山市公共下水道長寿命化対策実施	ポンプ場(マンホールポンプ場含む)	守山市						93		策定済	
			長寿命化																	
	A07-002	下水道	一般	守山市	直接	-	管渠(雨水)	新設	勝部出庭排水区	雨水管 1,650mm L=365m、分土工 1箇所	守山市						173		-	
	A07-003	下水道	一般	守山市	直接	-	管渠(汚水)	改築	守山市公共下水道総合地震対策実施	調査、耐震化工事	守山市						323		策定済	
			総合地震																	
	A07-004	下水道	一般	守山市	直接	-	管渠(汚水)	新設	守山市公共下水道ストックマネジメント計画策定	計画策定	守山市						16		未策定	
											小計						605			
											合計						605			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
守山市社会資本整備総合交付金評価委員会において、当計画の事業実施状況、指標の達成状況の報告・確認を実施。	令和5年3月9日
	公表の方法 守山市ホームページにて公表する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・(汚水)ポンプ(マンホールポンプ含む)更新の実施率が増加し、長寿命化が図れた。 ・(雨水)下水道による都市浸水対策の達成率が向上し浸水被害が軽減した。 ・(汚水)重要な汚水管渠の機能確保率が増加し、耐震化が図れた。 ・(汚水)ポンプ場の耐震化実施率が増加し、耐震化が図れた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	
特記事項(今後の方針等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・(汚水)下水道施設の耐震化を進めることで、更に安全・安心、快適な暮らしを継続し、設備の延命化(長寿命化)を行うことで適正な維持管理の継続を図ります。 ・(雨水)集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、引き続き未整備地域の浸水対策を実施することにより、水害に強い都市を作るとともに、安心安全な市民生活の確保を図る。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	ポンプ場(マンホールポンプ場)の長寿命化率 = 更新工事済みポンプ場(17箇所) / 全ポンプ数(47箇所)		
	最終目標値	98%	目標値と同値の整備が実施できた。
	最終実績値	98%	
下水道による都市浸水対策達成率 = 整備済み面積(ha) / 全体計画面積(2,091ha)			
2	最終目標値	17%	最終目標の17%を3.5%達成できなかった。要因として滋賀県実施の浸水シミュレーション調査により現在の整備済み施設で十分な浸水対策の実現が確認されたことが挙げられる。現在実施中の栗東市域(出庭工区)の整備により上流での排水がカットされ、守山市内への流入が抑制されることが想定されるため、本市の事業の取り組みについて栗東市の整備状況を注視し、今後の進め方を再考する。
	最終実績値	13%	
	重要な汚水幹線の機能確保率(%) = 重要な汚水幹線の耐震化および減災化済延長(4,656m) / 重要な汚水幹線延長(32,996m)		
3	最終目標値	24%	最終目標値の24%を3.9%達成できなかった。要因として別のポンプ場長寿命化事業を優先して行ったことで実績値に差が出た。
	最終実績値	20%	
	マンホールトイレ普及率(%) = 対策実施済施設数(3箇所) / 対策を実施すべき計画施設数(16箇所)		
4	最終目標値	68%	目標値と同値の整備が実施できた。
	最終実績値	68%	